

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年5月7日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県東広島市西条中央2-7-5

氏名 株式会社 明成

代表取締役 尾原 睦明

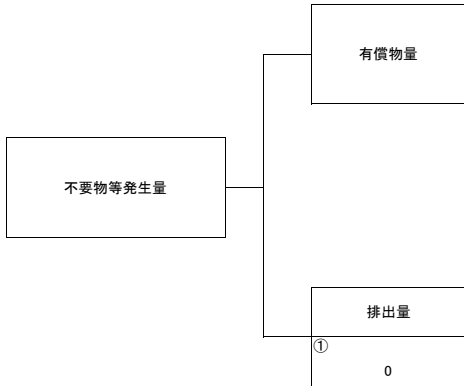
電話番号 082-422-3236

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 明成				
事業場の所在地	東広島市西条中央2丁目7-5				
事業の種類	総合工事業				
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日				
産業廃棄物処理計画における目標値 <b>別紙4のとおり</b>					
項目	目標値		項目	目標値	
排出量	1600	t	全処理委託量	1600	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	t	優良認定処理業者への処理委託量	150	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	t	再生利用業者への処理委託量	450	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	t	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t

計画の実施状況

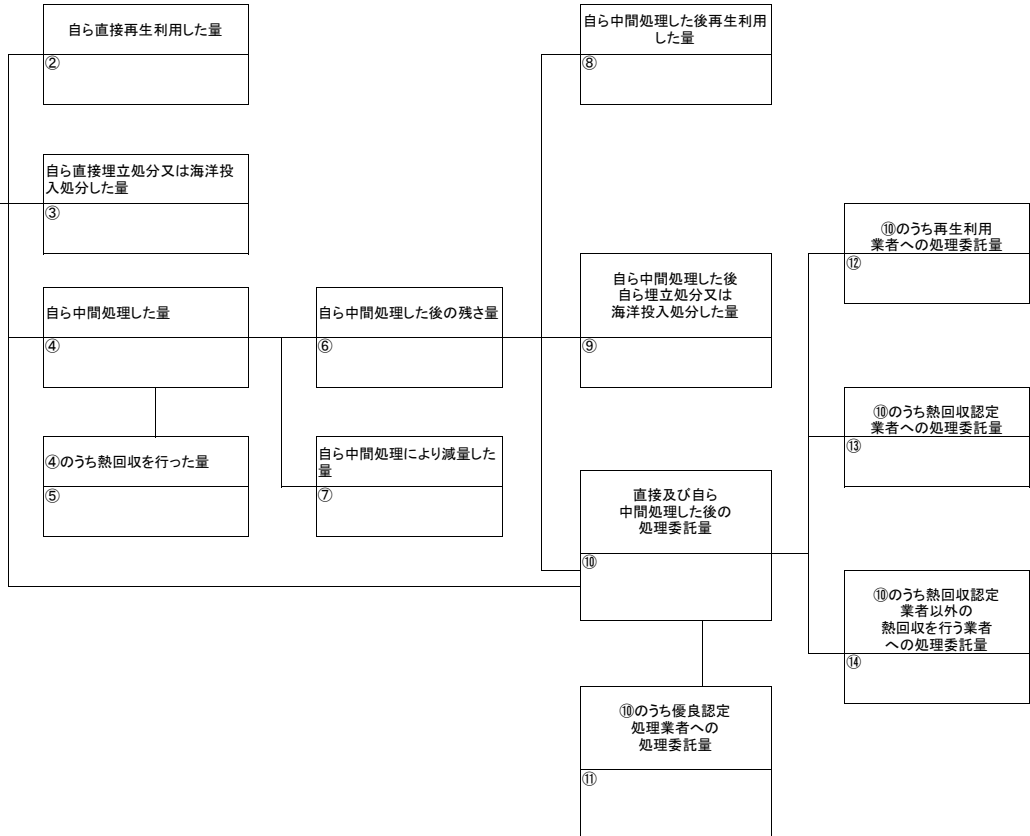
(産業廃棄物の種類: )



別紙3のとおり

6年 5月23日

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)  
(令和6年度実績)

別紙3-その2

単位:トン/年

	単位:トン/年								実 績 値									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
産業廃棄物の種類	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑤のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑥のうち再生利用業者への処理委託量	⑦のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑧のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	15.950			15.950	15.950	15.950			15.950	0	0	0	0	15.950	15.950	16	0	0
廃油									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	6.760			6.760	1.400	6.760			6.760	0	0	0	0	6.760	1	6.760	0	0
紙くず									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	196.065			196.065		196.065			196.065	0	0	0	0	196.065	0	196.065	0	0
繊維くず									0.000	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0	0
動植物性残さ									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0.104			0.104		0.104			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	10.530			10.530		10.530			11	0	0	0	0	11	0	11	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	9.500			9.500	9.500	9.500			10	0	0	0	0	10	10	10	0	0
紙さい									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	1543.720			1543.720	80.000	1523.720			1543.720	0	0	0	0	1543.720	80.000	1523.720	0	0
動物のふん尿									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合安定型	9.514			9.514	9.514	9.514			9.514	0	0	0	0	9.514	10	9.514	0	0
混合管理型	5.057			5.057	4.407	5.057			5.057	0	0	0	0	5.057	4.407	5.057	0	0
廃石膏ボード	18.750			18.750	18.750	18.750			18.750	0	0	0	0	18.750	18.750	18.750	0	0
石綿含有									0.000	0	0	0	0	0.000	0	0	0	0
									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1815.950	0	0	1815.950	139.521	1795.950	0	0	1815.950	0.0000	0	0	0	1815.950	139.521	1795.950	0.000	0

別紙4 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

( 令和6度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	2161	①排出量	1,815.950
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	2161	⑩全処理委託量	1,815.950
優良認定処理業者への処理委託量	2054	⑪優良認定処理業者への処理委託量	139.521
再生利用業者への処理委託量	2157	⑫再生利用業者への処理委託量	1,795.950
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月14日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県東広島市西条中央2丁目7番5号

氏名 株式会社 明 成

代表取締役 尾原 睦明

電話番号 082-422-3236

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 明成
事業場の所在地	広島県東広島市西条中央2丁目7番5号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	資本金：2,000万円
③従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生 → 分別 → 収集・運搬 → 処分 (工事現場) (運搬業者) (処分業者)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>
(管理体制図)	
総括責任者代表取締役社長 ➡ 廃棄物処理管理責任者 ➡ 各工事現場管理責任者	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量(t)	-	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量(t)	-	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類他	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

		【目標】		別紙 1, 2 のとおり	
		産業廃棄物の種類	がれき類ほか		
②計画	全処理委託量		t		t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t		t
	再生利用業者への 処理委託量		t		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	t		t
	(今後実施する予定の取組)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り優良認定処理業者から選定する。</li> <li>・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については再利用業者、熱回収業者へ処理委託する。</li> <li>・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。</li> </ul>				
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(2024年度)実績量

計画：今年度(2025年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	15.95	10									15.95	10	15.95	10	15.95	10				
廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	6.76	6									6.76	6	1.4	2	6.76	6				
紙くず																				
木くず	196.065	150									196.065	150			196.065	150				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0.104	0									0.104	0			0.104	0				
金属くず	10.53	10									10.53	10			10.53	10				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	9.5	9									9.5	9	9.5	9	9.5	9				
鋸さい																				
がれき類	1543.72	1300									1543.72	1300	80	300	1523.720	900				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
混合安定型	9.514	8									9.514	8	9.514	8	9.514	8				
混合管理型	5.057	3									5.057	3	4.407	3	5.057	3				
廃石膏ボード	18.75	15									18.75	15	18.75	15	18.75	15				
石綿含有																				
合計	1815.95	1511	0	0	0	0	0	0	0	0	1815.95	1511	139.521	347.00	1795.95	1111.00	0	0	0	0

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	資本金：2,000万円
③従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙3のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 各現場で発生する産業廃棄物については再生処理業者と適正に委託契約を締結し、再資源化を図ることで最終処分量の削減を図っている。
②計画	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、現場で使用した資材の転用、発生物を現場で再利用することで排出の抑制を図る。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設リサイクル法に基づき個別分別を行う。
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の事項を各現場において確実に実施を行う。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。
②計画	(今後実施する予定の取組) 予定なし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。
②計画	(今後実施する予定の取組) 予定なし

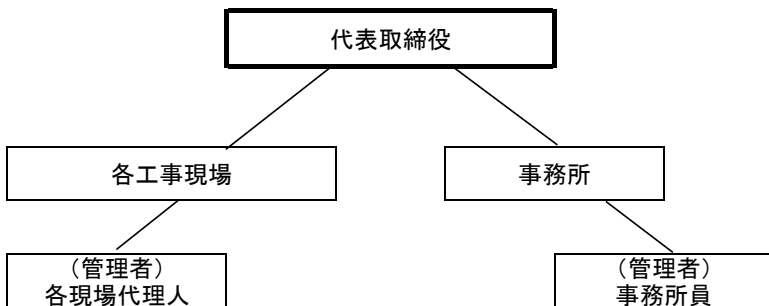
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。
②計画	(今後実施する予定の取組) 海洋投入処分する予定はない。

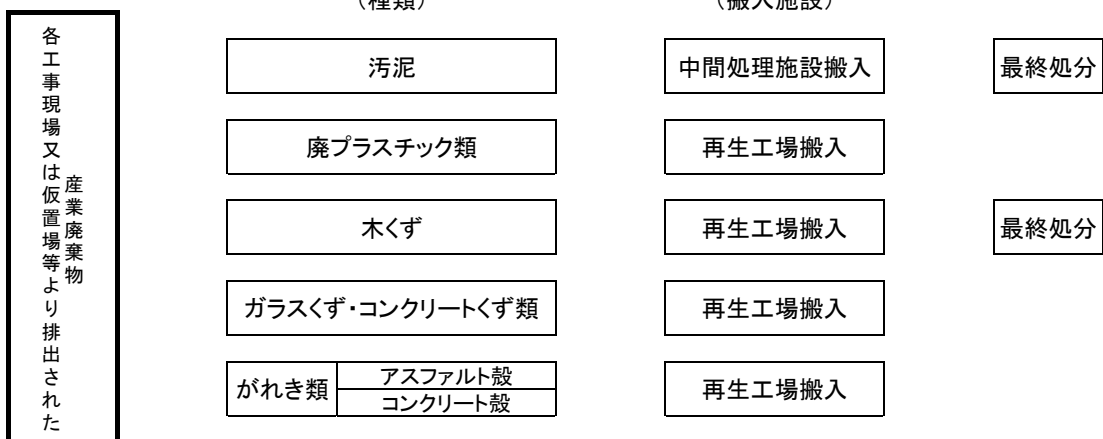
8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を委託できる業者を選定し委託基準に従って確認を行い、書面による契約を締結している。
②計画	(今後実施する予定の取組) ・今後も上記の事項を確実に行うことと合わせ、優良認定処理業者及び再利用業者への委託を拡大する。

**【管理体制図】**



**【産業廃棄物の処理工程】**



※廃棄物の量によっては、一般的な会社の仮置場で分別保管し、定期的に運搬(排出)しています。